

【作り方説明書】

サマーワンピース・フリルの型紙

<p>■詳細対応サイズ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・40cm ソフビ ・58cm ソフビ M,L,LL <p>(スマド未確認)</p>	<p>■難易度</p> <p>イージー / 【ノーマル】 / ハード / ハード↑ / エクストラ</p>
<p>■サンプル使用生地の厚み</p> <p>0.22mm</p>	<p>■用意するもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やや薄手～普通生地 ・3mm 程度の平ゴム
<p>■手縫い可否</p> <p>OK</p>	
<p>■布に書き写すパーツリスト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・40cm 用 <p>①ゴム通し 1枚そのまま 1枚</p> <p>②フリル 1枚→ //</p> <p>③④身頃 2枚→そのまま 2枚</p> <p>⑤⑥袖 2枚→ //</p> <p>⑦⑧カフス 2枚→ //</p> <p>合計：8枚 のパーツで構成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・58cm 用 <p>①ゴム通し 1枚そのまま 1枚</p> <p>②フリル 1枚→ //</p> <p>③前身頃 1枚→ //</p> <p>④後身頃 1枚→ //</p> <p>⑤⑥袖 2枚→そのまま 2枚</p> <p>⑦⑧カフス 2枚→ //</p> <p>合計：8枚 のパーツで構成</p>

■必要な布量参考数値

【サマーワンピース・フリルの型紙 40cm】

横90cm, 110cm

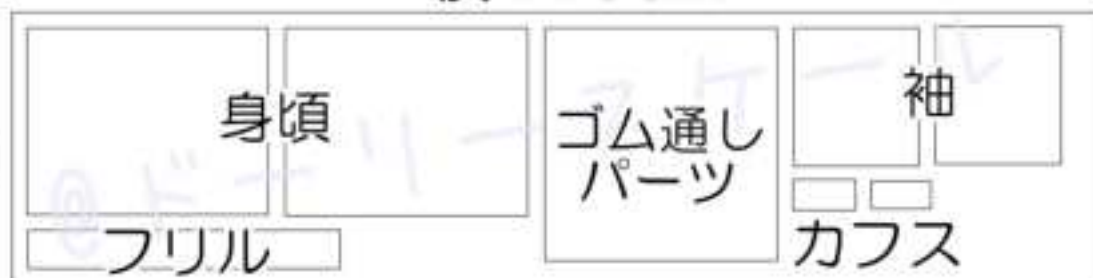
縦59cm



【サマーワンピース・フリルの型紙 40cm】

横140cm

縦34cm



【サマーワンピース・フリルの型紙 58cm】
横90cm, 110cm

縦82cm



【サマーワンピース・フリルの型紙 58cm】
横140cm

縦57cm



01. 型紙を貼り合わせる

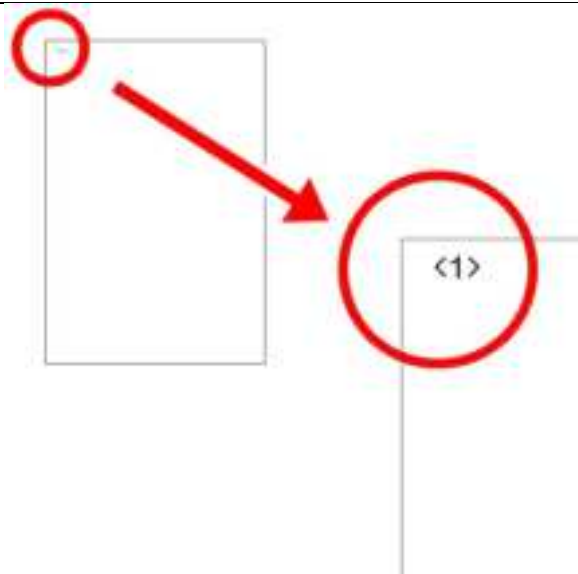
① 型紙に割り振られている番号を確認する。

番号は型紙の左上に記載

※①～④の右図は全型紙共通で使用しています。

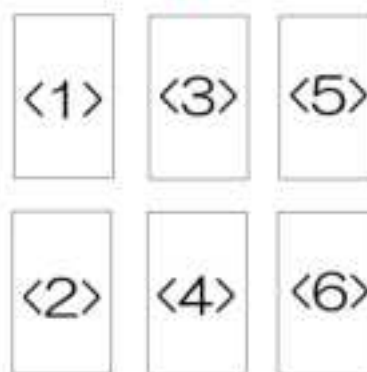
型紙の種類によって貼り合わせる枚数、数字は違います。

枚数、貼り合わせ数字については各型紙をご覧ください。

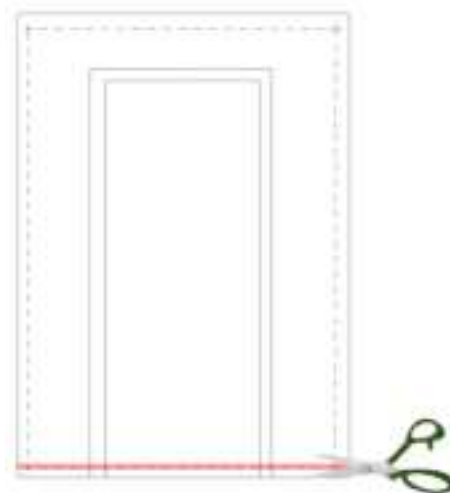


② <1>の型紙に記載されている通りに型紙を並べる。

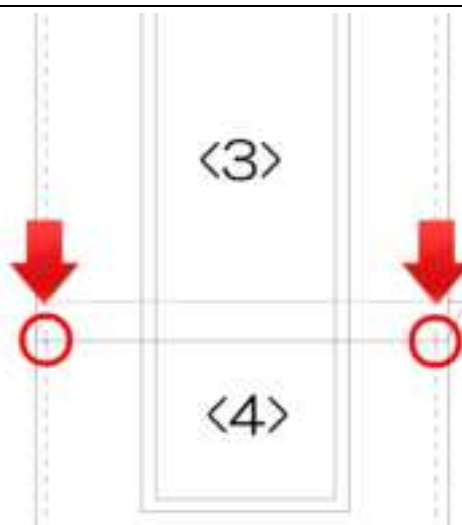
「青色の数字の型紙貼り合わせる」という箇所に記載。



③ 点線に沿って、型紙が繋がる方だけカットする。

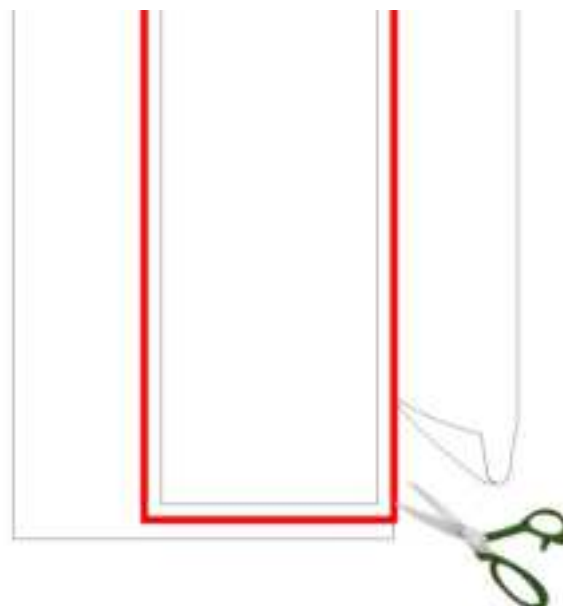


④ <5>の上側のガイドに③の下部を合わせて、表裏両方をテープで留める。



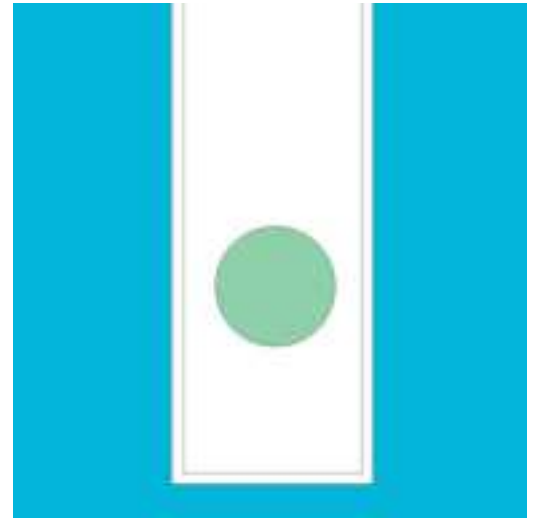
02. 型紙を切り取る。

02~07の右図は全型紙共通で使用
しています。



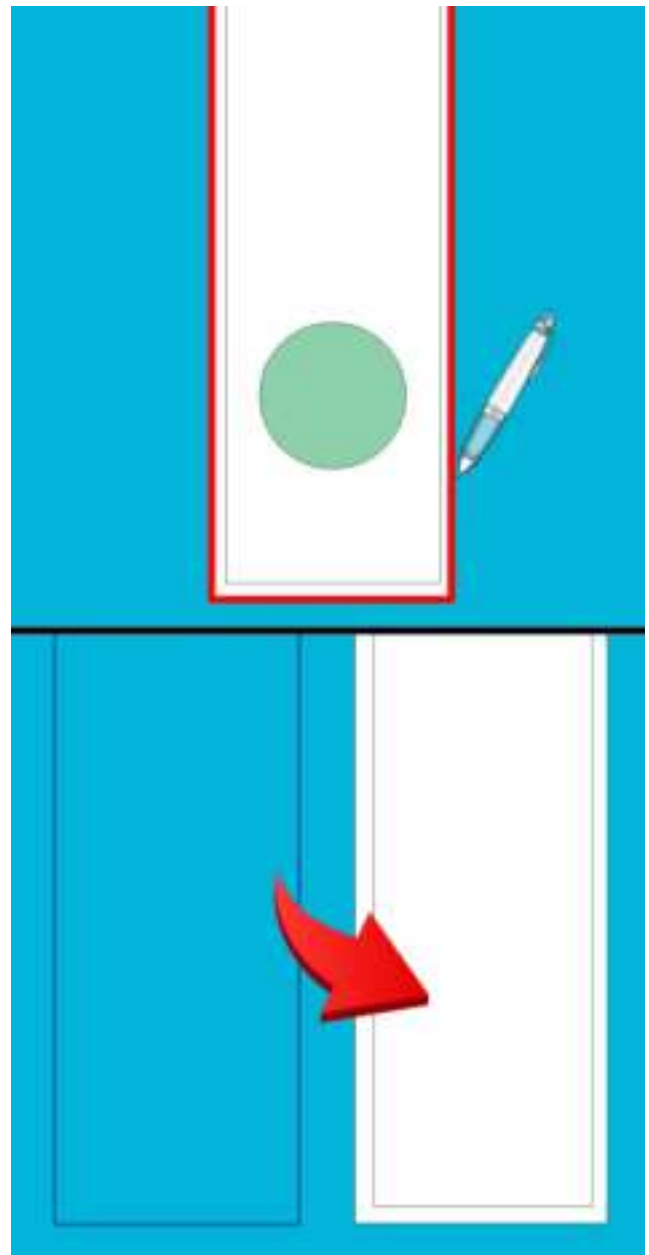
03. 布を裏にして型紙を置く。

- 〔 まち針で留めず、ペーパーウェイト等で型紙が動かない様にする。

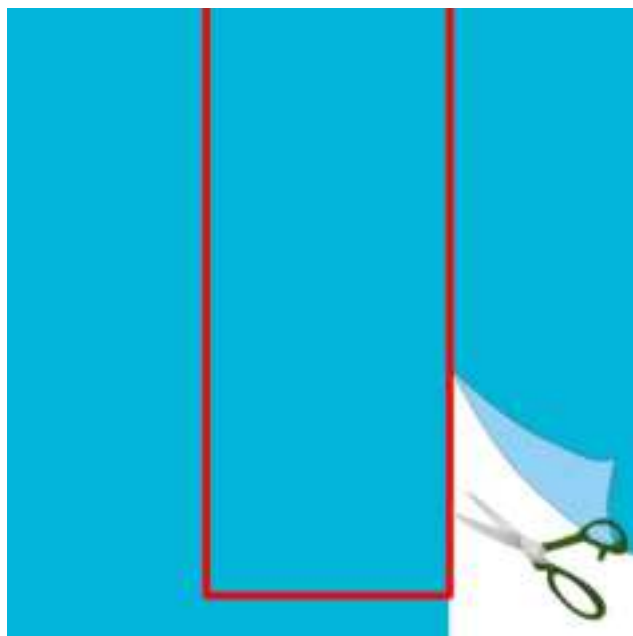


03. 型紙の外側をなぞって布に写す。写したら型紙は一旦避ける。

- 〔 ※オススメのチャコペン
 - ・カリスマシャープペンシル(使用中)
 - ・クロバー 水性チャコペン

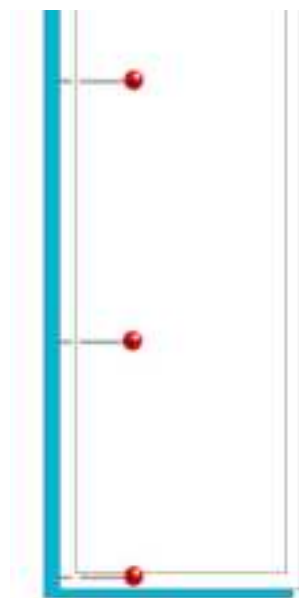


05. 04 で写した線に沿って布を切る。



06. 切り取った布に型紙をのせてまち針でとめる。

〔 型紙と布がずれないようにするだけなので、
細かくとめる必要はない。〕



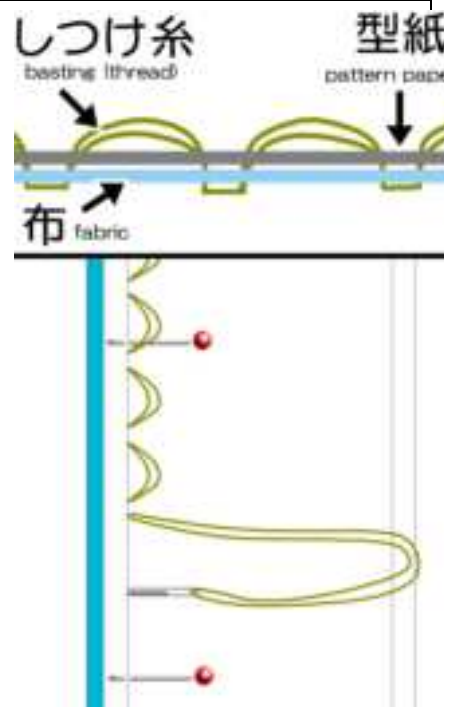
07. “切りじつけ” をする。(①～⑧)

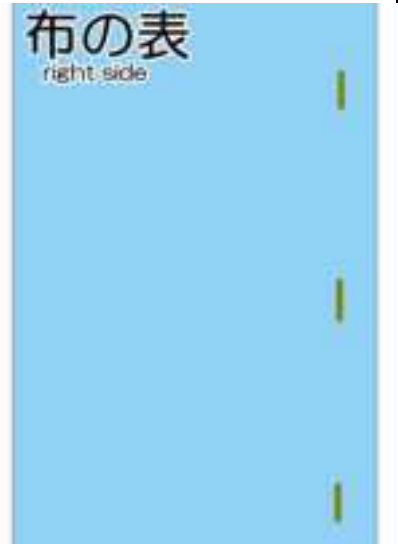
- ① しつけ糸を針に通し、糸が2本になる様にする。
〔玉止めはしない。〕



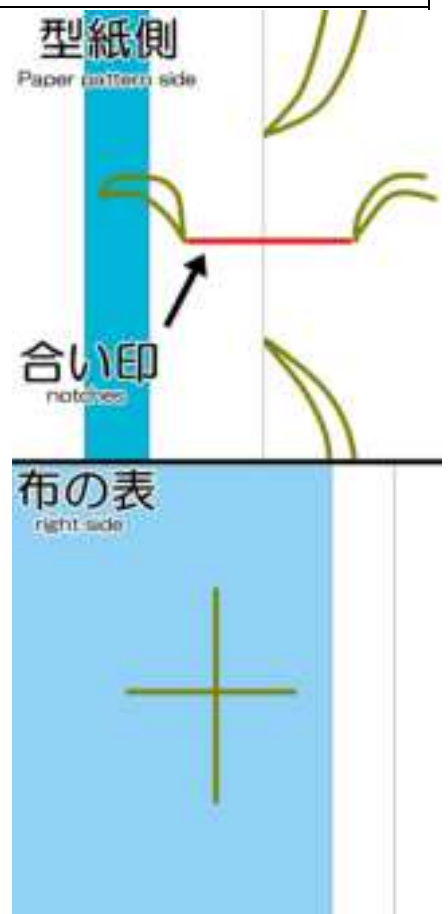
- ② 紙の上から出来上がり線に針を刺していく。
A. 型紙から刺す
B. 布を刺す
C. 0.3cm 程度すくうように縫う
D. 型紙を刺す
E. 糸をたるませつつ 1.5cm 程度空けて再度型紙を刺す
A～E を繰り返す。

〔上側はたるませて、下側の糸はたるませない。
全ての線を写す必要はないので、細かく針を刺さなくても良い。〕





- ③ 角や合い印は下側(布側)から見て
+ に見えるように針を刺す。



④ 上側のたるませた糸を切る。



⑤ まち針を抜く。

⑥ 糸を抜かない様に型紙だけを抜き取る。



⑦ 長い糸は 3mm 程度に切る。
〔糸を抜き取らない様に注意。〕



⑧ しつけ糸が抜けないうちに、アイロンか指で糸を寝かせる。



【袖を付ける場合】(付けない場合は 18 へ)

08. 袖×2 の両側の中央辺りまで切り込みを入れる。



09. 袖口に ”ギャザーを寄せミシン”を縫う。

〔 もう一枚も同じように縫う。〕

①ミシンの上糸の糸調節を “弱” にする。

〔ダイヤルの場合は 0 にする。〕



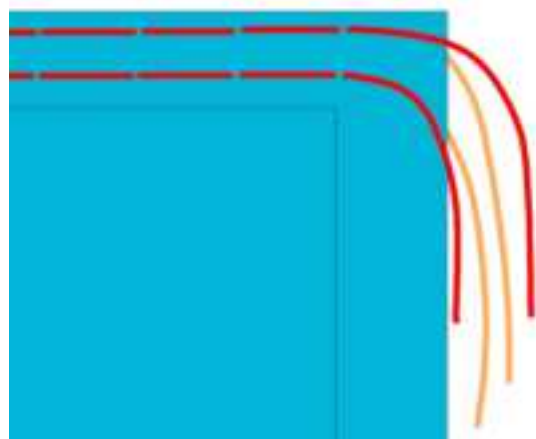
②縫い目の長さを 4mm 程度にする。



③縫い始めの糸は上下共に 10cm 以上出しておく。
〔上糸と下糸の色を変えておくと、後でわかりやすい。〕

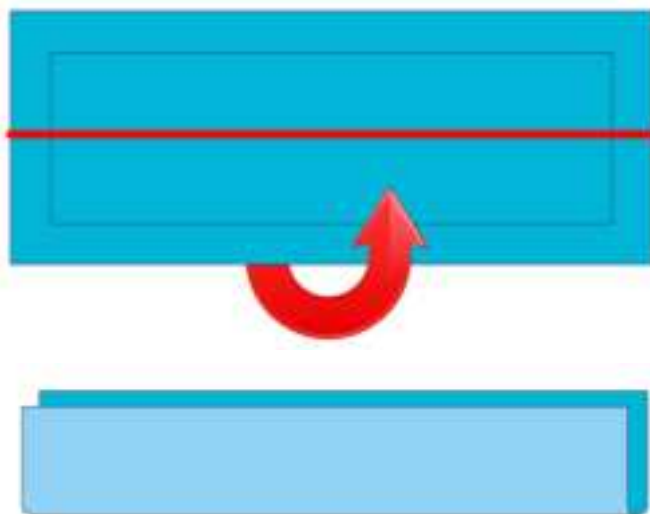


④布の端から 2mm 程度のところを縫い、
縫い終わりの糸も 10cm 以上残して切る。
2 本目は布端から 4mm 程度のところを縫う。



⑤上糸の調節 (①) と、縫い目の長さ (②) を元に戻す。

10. カフス×2 を中心で折る。



11. カフス×2 を仮縫いをする。



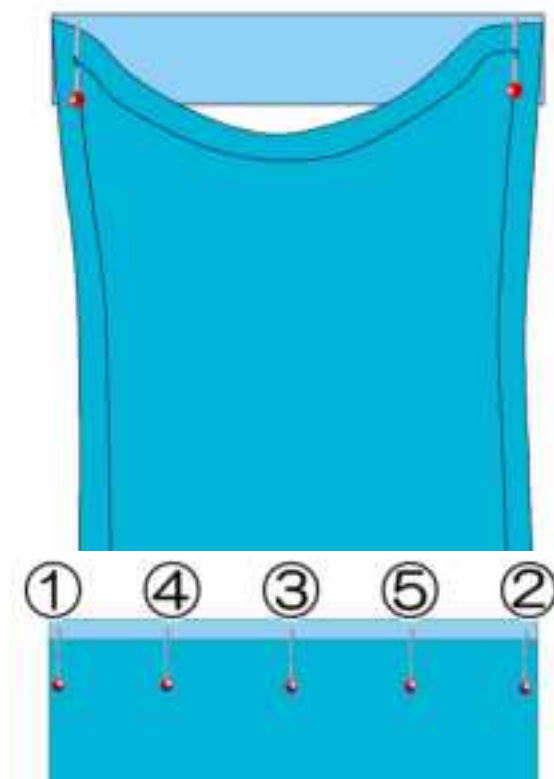
12. 表が内側になる様に、
カフスと袖口を合わせギャザーを寄せる。
反対側も同じようにギャザーを寄せる。

待ち針は

①②布の両端からとめる。

③次に中央

④⑤最後にその間を埋める様にとめていく。



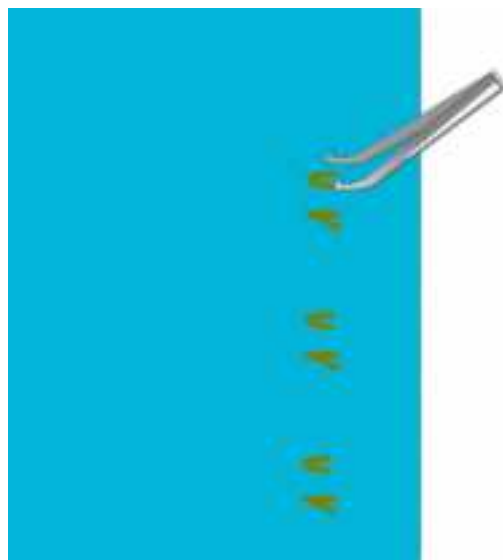
13. 出来上がり線で縫う。

〔反対側も同じように縫う。〕



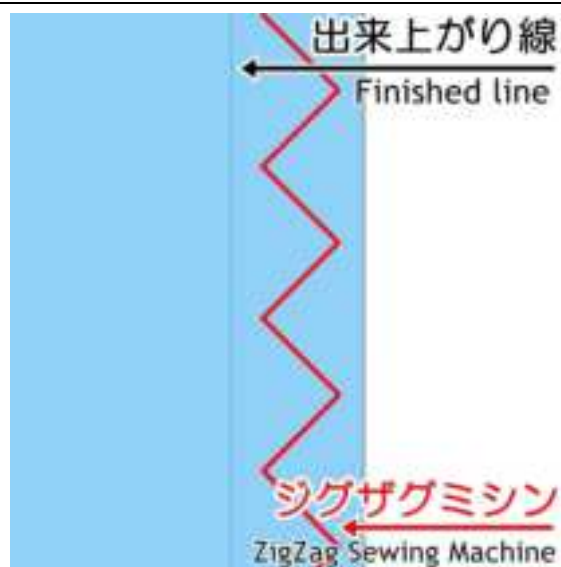
14. 縫ったところのしつけ糸を抜く。

しつけ糸が取り辛い時は、糸抜きや毛抜き等で抜く。
以降、縫ったら余分なしつけ糸はその都度抜いていく。



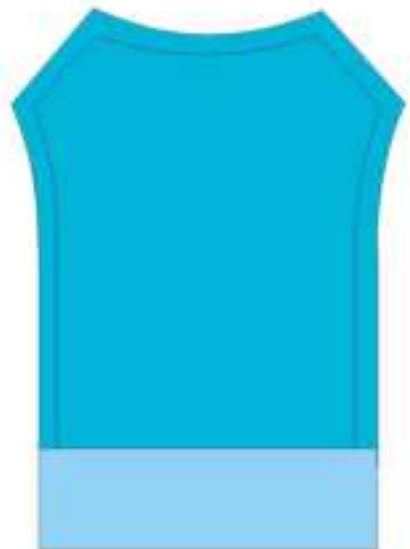
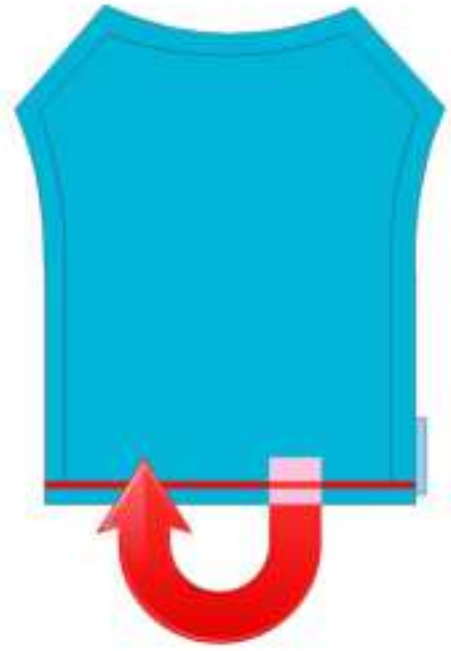
15. 袖とカフスの縫い代にロックミシンか、家庭用ミシンのジグザグで縫う。

家庭用ミシンの縫い目を左図にする。
布端から針が落ちないように、少し内側を縫う。
反対側も同じように縫う。



16. カフスを折り返す。

- 縫い代は袖側に倒す。
- 反対側も同じように折る。



横から見た時
side view

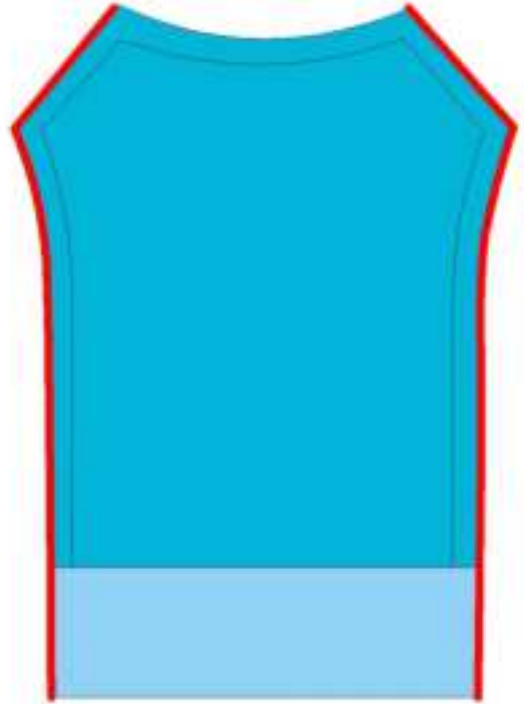


袖
sleeve

カフス
cuffs

17. 袖と袖ぐりにロックミシンか、
家庭用ミシンのジグザグで縫う。

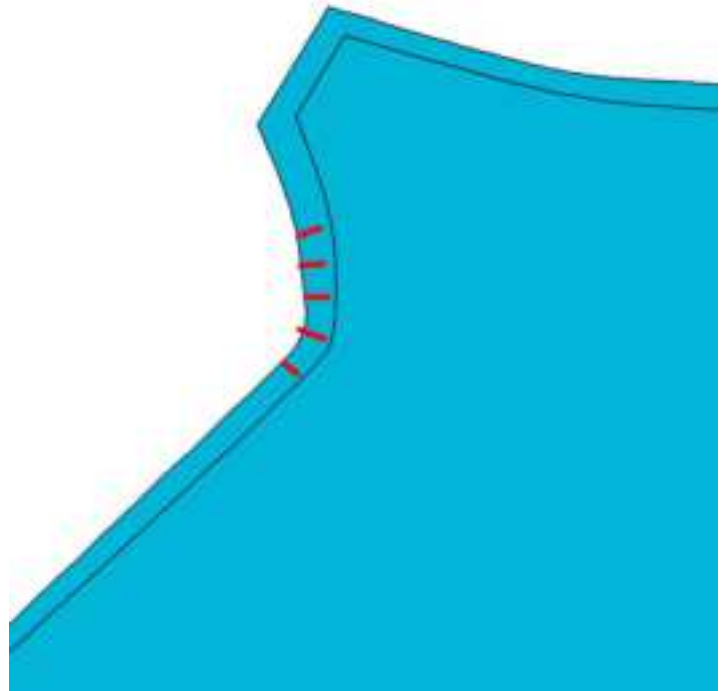
〔袖ぐり：アームホール。身頃と袖をつける部分。
反対側も同じように縫う。〕



【共通】

18. 前後身頃脇の W 付近一带に切れ目を入れる。

〔反対側も同じように縫う。〕



19. 前後身頃の袖ぐりと脇に、
ロックミシンか家庭用ミシンのジグザグで縫う。



家庭用ミシンの縫い目を左図にする。

布端から針が落ちないように、少し内側を縫う。

袖ぐり：身頃側の、袖と縫い合わせる場所。

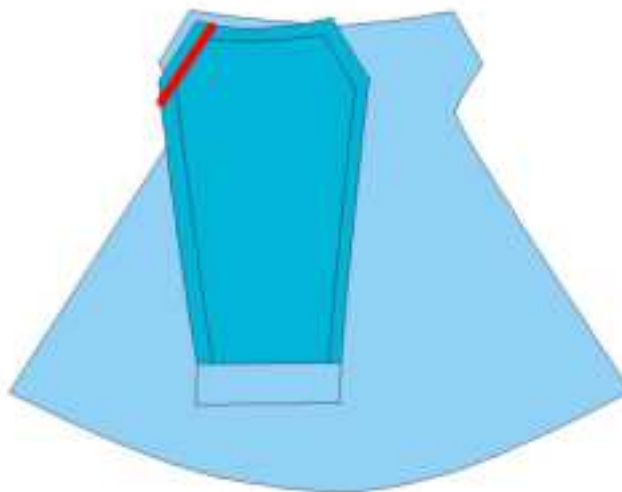
(この型紙では袖パーツは無し)



【袖を付ける場合】(付けない場合は 24 へ)

20. 表が内側になる様に、身頃と袖を合わせて縫う。

〔 4 カ所全てを縫う。〕

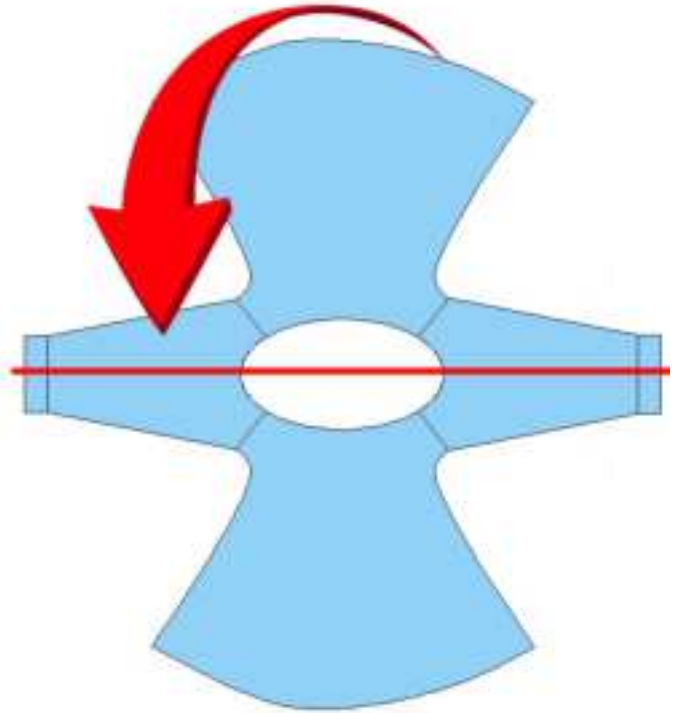


21. 縫い代を開いてアイロンをかける。

〔 4 カ所全てにアイロンをかける。〕



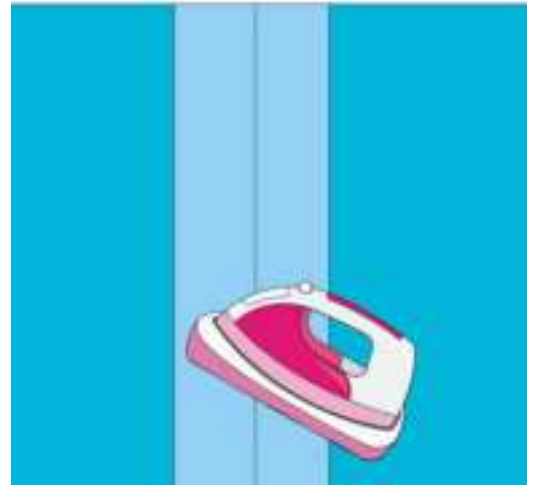
22. 表が内側になるように、左右の袖の真ん中で折る。



23. 袖口から裾までを縫う。



24. 縫い代を開いてアイロンをかける。
〔反対側も同じように縫う。〕



【袖を付けない場合】(付ける場合は 29 へ)

25. 袖ぐりを出来上がり線で折る。



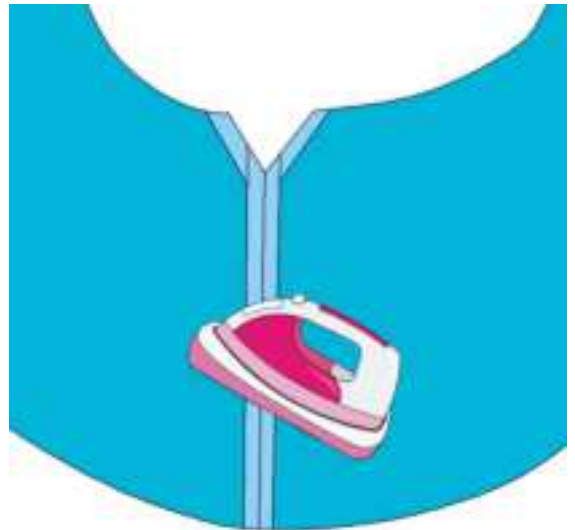
26. 縁を縫う。



27. 表が内側になる様に、
前身頃と後身頃の脇を合わせて縫う。



28. 縫い代を開いてアイロンをかける。
〔 反対側も同じようにアイロンをかける。〕

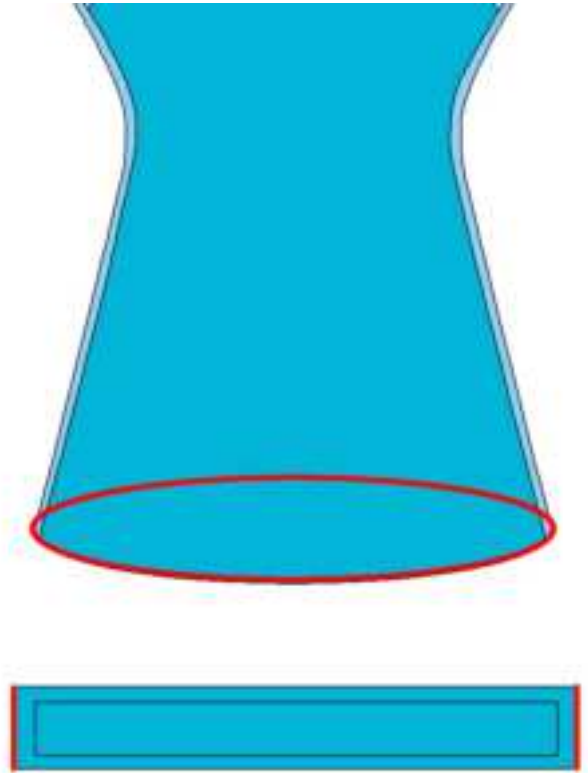


【共通】

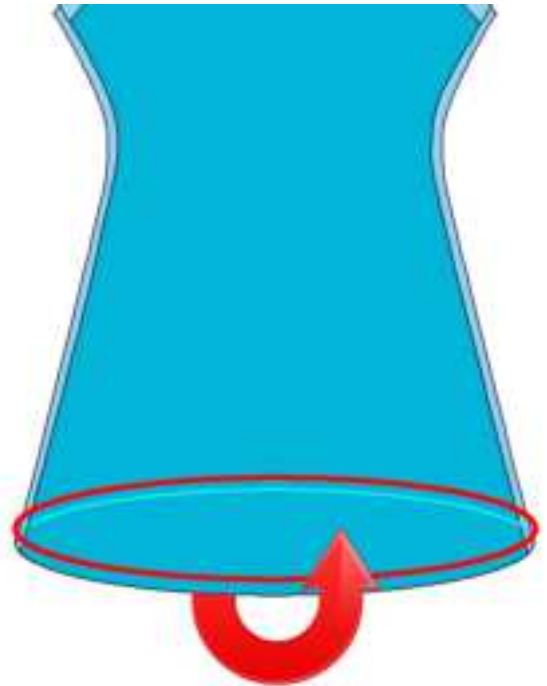
29. ゴム通しパーツ の“この縫い代を折る”と
書かれた方の出来上がり線で折ってアイロンをかける。



30. 裾とフリルの端にロックミシンか家庭用ミシンのジグザグで縫う。

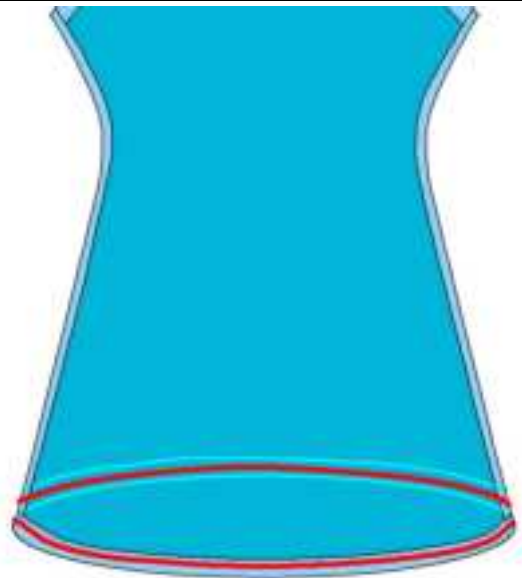


31. 裾を出来上がり線で折る。



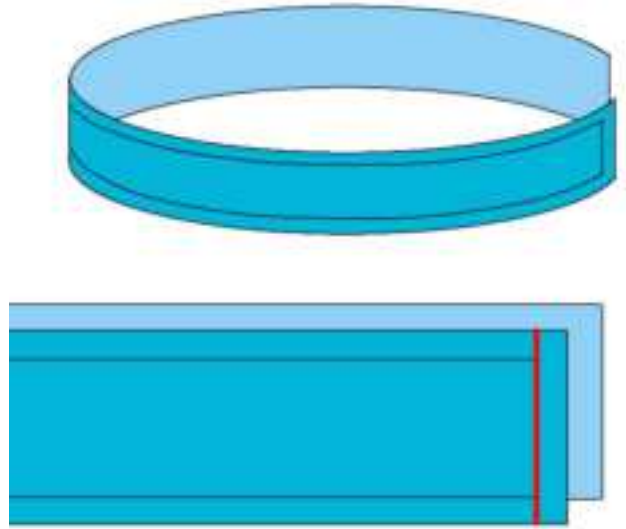


32. 縁を縫う。

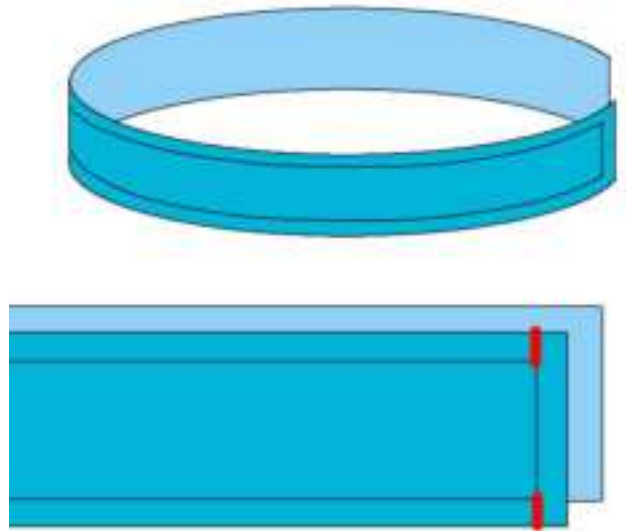


33. 身頃を表に返す。

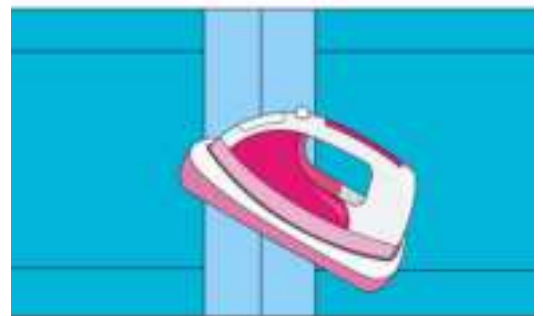
34. 表が内側になる様に、
フリルを輪にして端を合わせて縫う。



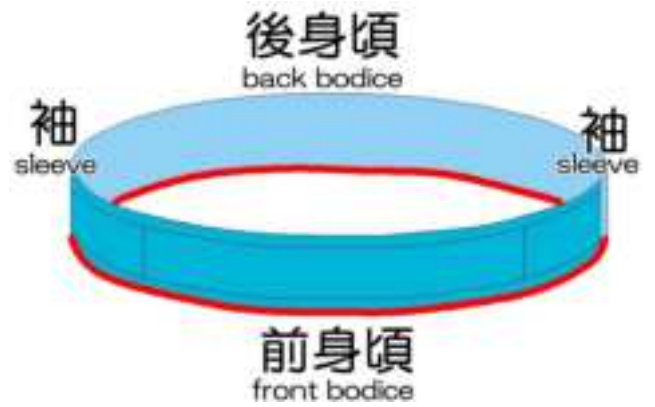
35. 表が内側になる様に、
ゴム通しパーツを輪にして縫い代だけを縫う。
〔アイロンで折ったところは広げて縫う。〕



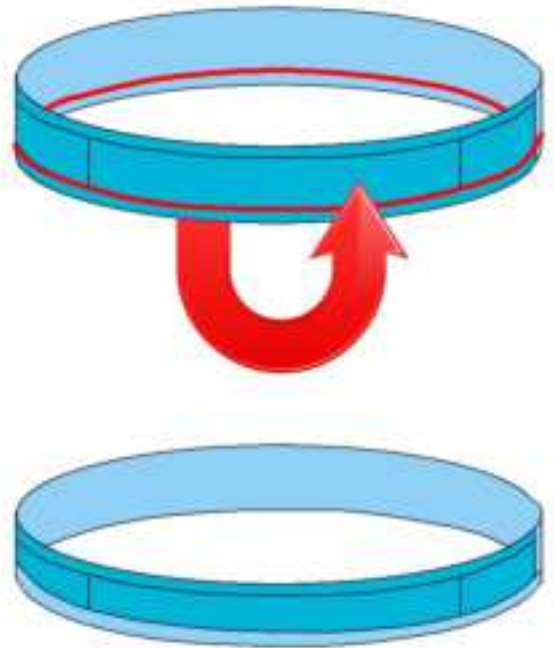
36. フリルとゴム通しパーツの縫い代を開いて、アイロンをかける。



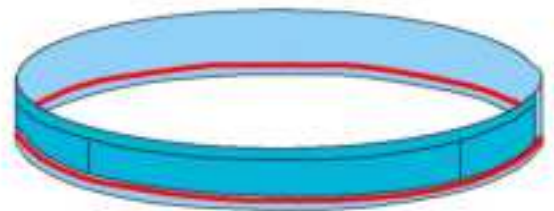
37. フリルの“この縫い代に解れ止め”と書かれた方に
ロックミシンか家庭用ミシンのジグザグで縫う。



38. 解れ止めをした方を出来上がり線で折る。



39. 縁を縫う。

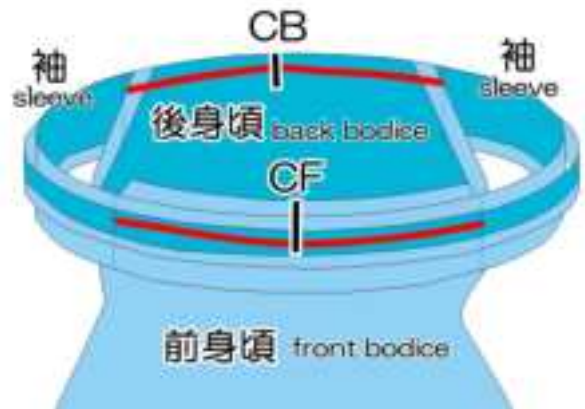


40. フリルを表に返す。

41. 身頃とフリルを“表が外”

になる様に合わせて 5mm 程度の大き目（仮縫い）で縫う。

- 前身頃の CF とフリルの CF、
- 後身頃の CB とフリルの CB を目印に合わせる。
- CF：センターフロント。前身頃の中心。
- CB：センターバック。後身頃の中心。

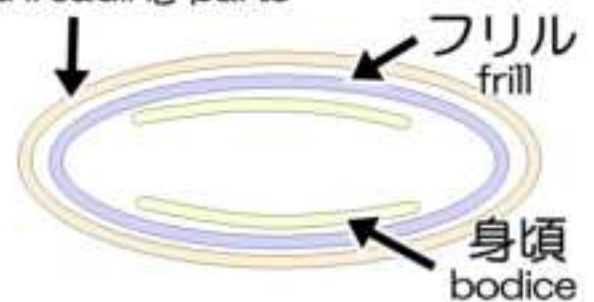


42. フリルの上に、ゴム通しパーツを裏を上にして合わせて一周縫う。

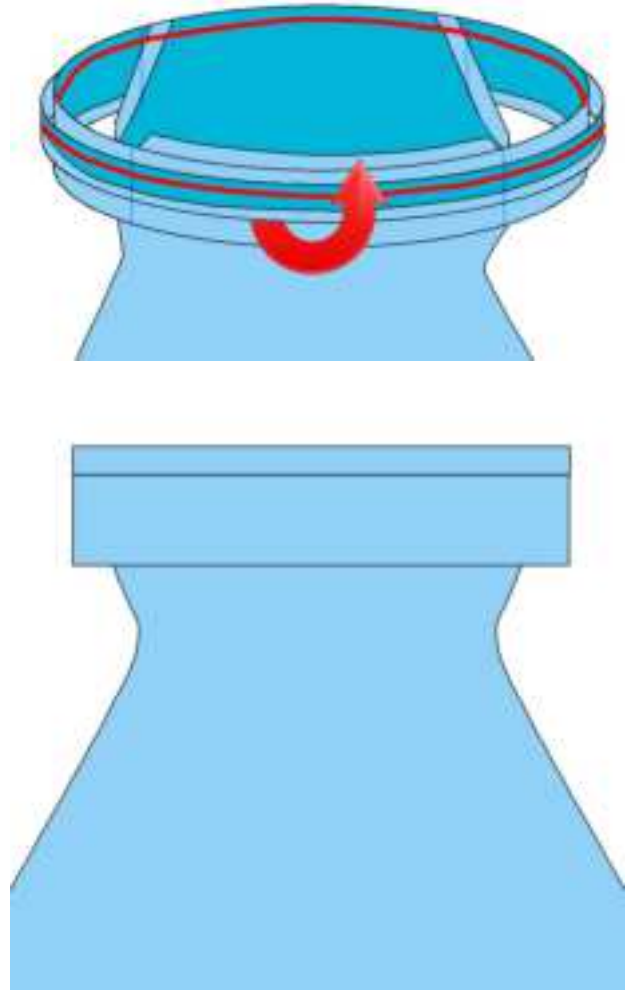


上から見た時
View from above

ゴム通しパーツ
elastic cord
threading parts



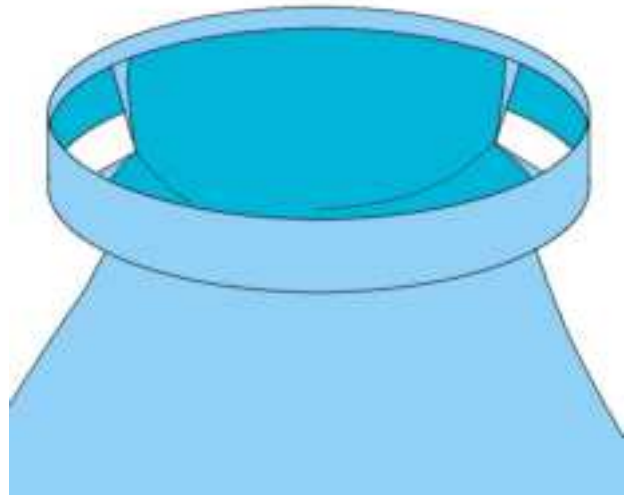
43. ゴム通しパーツを折り返す。



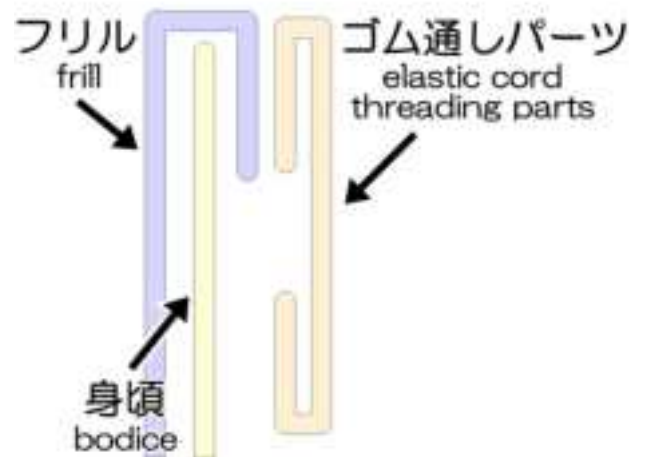
44. ゴム通しパーツを中に折る。

〔 身頃とフリルの縫い代を、
ゴム通しパーツの中に入れる様につつむ。〕



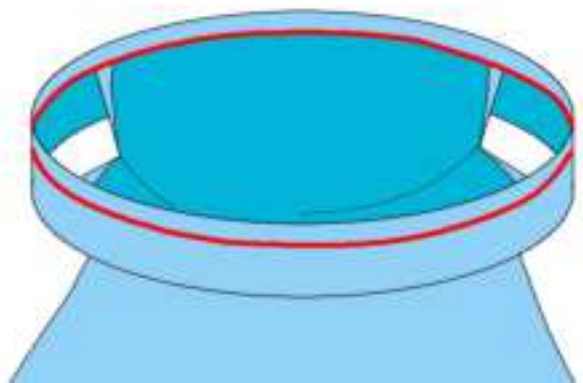


横から見た時
side view



45. ゴム通しパーツの縁を一周縫う。

- 袖を付けない場合：フリルも一緒に縫う。
- 袖を付けない場合：フリルも一緒に縫っても、フリルを避けて、袖とゴム通しパーツを縫ってもいい。



46. ゴム通しパーツの穴にゴムを通す。

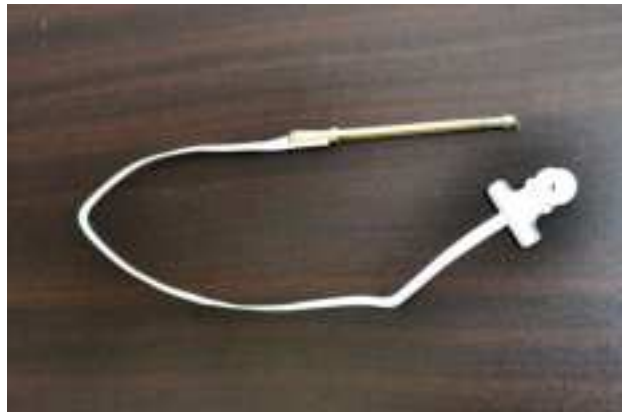
ゴムの長さ：（縫い合わせ部分を含む）

40cm用 20cm

58cm用 26cm

市販のゴム通しを通らない場合は、
安全ピンでも代用可能。

反対側に最初にクリップ等をはさんでおく。

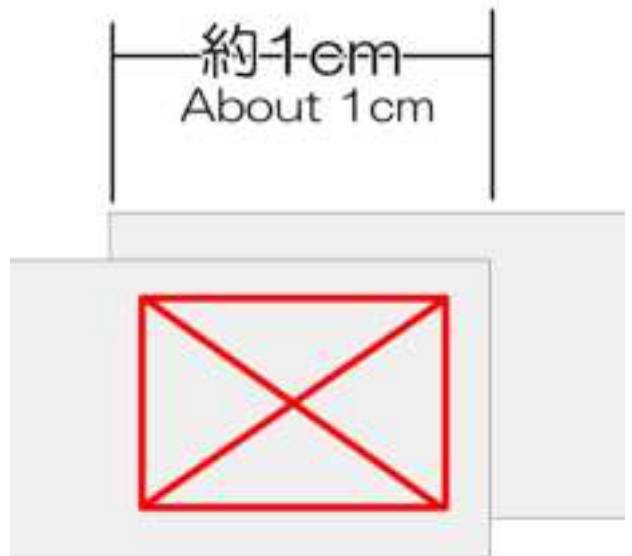


47. ゴムの先端が出て来たら、両端を重ねて縫う。

ゴムの細いので手縫いがおすすめ。

縫い方が弱いと、

ゴムを伸ばした時に解けてしまうので注意。



48. ゴムを穴に戻し、全体のギャザーの寄り具合を整える。

お疲れ様でした！